

## 25. 総務部総務課図書室

図書室長（総務課長併任） 飯野 賢一  
編集委員長 西條 政幸

### 概要

図書室は二係あり、図書係が研究資料の収集管理提供サービス全般を、編集翻訳係が機関誌 JJID (Japanese Journal of Infectious Diseases) の編集発行を行っている。

### [図書係]

図書係では、上記業務のほか、平成 23 年度より研究成果の収集保存が開始され、当業務も担当している(令和2年度収集件数:744 件)

また三庁舎図書委員会の事務局として、委員会所掌事務の取り纏めや調整を行った。

令和2年度の資料受入状況及び文献相互貸借状況は、以下の通りである。

資料受入状況	洋	和	合計
雑誌	105	180	285
購入	81	4	85
電子版	80	1	81
交換	8	4	12
寄贈	16	172	188
単行本	41	220	261
購入	19	26	45
電子版	0	0	0
寄贈	22	194	216

文献相互貸借状況	供与	依頼	合計
総数	79	752	831
三庁舎間	38	38	76
外部機関総数	41	714	755
協力機関	13	82	95
国公立大学/機関	20	316	336
私立大学/機関	8	316	324

### [編集翻訳係]

編集翻訳係では、令和 2 年は JJID 第 73 巻 1 から 6 号を刊行し、JJID ホームページでも全論文の PDF ファイルを公開した (<https://www.niid.go.jp/niid/ja/jjid.html>)。

JJID 編集委員会においては、次の通り委員の交替があった。令和 2 年 3 月末に棚林清が退官により委員を辞した。令和 2 年 8 月に大澤英司が異動により委員を辞し、竹下望(企画調整主幹)が編集委員として加わった。令和 3 年 1 月に齋藤智也(感染症危機管理研究センター長)、松岡隆介(国際協力室長)が編集委員として加わった。編集方針に変更はなかった。

科学技術振興機構(JST)運営の電子ジャーナル共同利用センター(J-STAGE)が提供する電子投稿システムを利用して、投稿受理・査読・審査(ScholarOne)、掲載等(J-STAGE)の作業を行った。その運用も順調になされ、システム導入前の平成 24 年と比較して投稿数も 5.3 倍に増えた。海外からの投稿が 83%を占め、53 カ国に及んだ。地方衛生研究所のネットワークにおいて、感染症部門で中心的な役割を果たされていた山形衛生研究所長の水田克己先生に総説の執筆を依頼した。

一方、受理された論文は、冊子出版、オンライン公開に先がけて、毎月十数報を Advance Publication として最終原稿のままオンライン公開を行った。さらに、新型コロナウイルス感染症対策の重要性に鑑み、掲載を決定した最新の新型コロナウイルス関連論文を Pre-Advance Publication として、より早期に感染研ホームページ上に公開した。

令和 2 年の JJID の発行頁数(掲載論文数)は以下の通りである。

1 号/87 頁(17 編)、2 号/87(16)、3 号/85(17)、4 号/59(13)、5 号/74(17)、6 号/94(18)。

表. 令和 2 年における投稿論文数と受理された論文数

	国内、投稿論文数	受理論文数	特記事項
国内	175 編	83 編	内、感染研からの投稿論文数 27 編
海外	933 編	50 編	53 ヶ国

平成 28 年までは論文受理から実際に論文が掲載されるまで、約 1 年を要していたが、平成 29 年以降は各号に掲載させる論文数を増やしたことにより、その期間は短縮され、令和 2 年においても受理から実際に掲載されるまでの期間は概ね 5~9 ヶ月であった。また、令和 2 年は、新型コロナウイルス関連の投稿が増加し、前年と比較して投稿数が倍増した。